

造船DXを実現するIoT技術の実証視察見学会を開催

令和7年12月4日(木)、四国総合通信局では、四国情報通信懇談会との共催により、造船DXに資する技術実証の実証視察会を実施しました。第1部では、当局の調査検討と情報通信研究機構(NICT)が実施している委託研究の実証の模様を視察いただきました。第2部では、今治造船(株)の造船所構内を見学させていただき、55名の皆様が参加されました。

技術試験事務 視察会

＜実際の車載器(受信側)＞



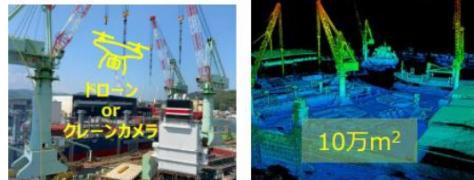
＜実機見学の様子＞



＜親局(送信側)＞

NICT実証事業 視察会

●造船ヤードの高精度デジタルツインの構築



ドローンによる自動飛行技術によってヤードを毎日撮影。3Dセンシングの位置同定の誤差2cmを確保。さらにデータ圧縮技術によって、LiDARからポリゴンを作成し、高速ブロウジングを実現。

＜デジタルツインの構築の様子＞

＜LiDAR搭載ドローン＞



＜LiDAR＞

＜ドローンの説明の様子＞



今治造船見学会

＜巨大な船体部品を組みあげる様子＞



(主催・共催)四国総合通信局、四国情報通信懇談会
ICT研究交流フォーラム

【お問い合わせ先】情報通信部 情報通信振興課(089-936-5061)